



# 情報システム委員会

## ★ ミッション ★

情報システム観点から知財課題の調査・研究を行い「企業内外の情報システムのあるべき姿」を、国内外の企業・特許庁・特許事務所に対して情報発信・提言を行う。

## ★ 活動方針 ★

- ◆ 調査・研究活動： アウトプットに拘る
- ◆ 委員会活動： 積極的な議論への参加を通じて個々人としても委員会に足跡を。「爪痕を残す」

秘めた目標：集合形式の会合を年度内に「誰かに一度は会う」

## ★ 運営 ★

定例会は1回/月開催 10:00～：正副委員長会  
13:30～：全体委員会・小委員会活動

担当理事：池田(キヤノン)  
委員長：海野(日立)  
副委員長：松岡(富士通)  
…全体補佐/会計

- ◆ 26名で構成 …… 3小委員会体制
- ◆ 定期研修C9E担当 …… 9/9-10に開催予定
- ◆ 特許庁等対応 …… 第1小委と正副で担当

[21年度実績]

- ◆ [JPO] 庁手続のデジタル化関連(他委員会合同対応)
  - 5/13(総務課),6/4(総務課),6/17(審判部)
- ◆ [JPO] 特許行政サービス室
  - 第54回出願ソフトウェア連絡会(7/19)
  - 下記議題に関する意見交換
    - ・出願ソフトのアップデート情報
    - ・現金予納制度の情報
- ◆ [JIPA] 国際政策PJ:IP5会合関連
  - GD WGとの連携
  - 電子署名要望関連

会員への情報発信

正副委員長会  
(委員長・副委員長)

第1小委員会  
5名

小委員長：宮澤悠(TTDC)  
補佐：小野裕(本田技研)

- [第1小委]
- ペーパーレスニュース(8/16発行)
  - No.137 電子出願ソフト
  - No.138 現金予納制度

第2小委員会  
12名

大原(ブラザー工業)  
遠藤(マクセル)  
宮沢知(大正製薬)

第3小委員会  
8名

内山(帝人)  
北垣(神戸製鋼)

(敬称略)





## 情報システム委員会 第1小委員会

### ◆ テーマ名

特許庁システムを含むグローバルな知財情報システム全体に関する調査・研究

### ◆ 狙い

各国特許庁／機関の情報提供サービスが拡充されてきていることを踏まえ、特に、特許庁行政年次報告書でも取り上げられているASEAN諸国＋BRICSについて、企業活動におけるこれらの情報を利活用する際の調査・研究を行うこと、及び、エンドユーザである企業が求める機能等について、庁サイドへ意見・要望を発信することを目的に活動を行う。

### ◆ 活動の概略

- ・5庁について、「効率的な知財活動のための各国グローバルドシエ活用法提案と課題への活動」（JIPA 関東・関西部会 2019年4月度）における各国の状況のアップデート。
- ・ASEAN諸国＋BRICSについて、各国の状況を調査・研究。上記5庁ほどは環境が整っていないと考えられるため、現状の把握を主として状況をまとめ、関係者との共有を図る。

### ◆ アウトプット&スケジュール

東西部会2022年4-7月





## 情報システム委員会 第2小委員会

### ◆ テーマ名

企業内外の業務連携と知財管理システム構築・活用についての調査・研究

### ◆ 狙い

働き方が急速に変容する昨今、業務改革に柔軟に対応可能なシステムへのニーズが高まってきたことを踏まえ、社内外のステークホルダーとの連動や業務改革への柔軟な対応を意識した知財管理システムについての調査研究を行う。

### ◆ 活動の概略

- ・特許事務所との最適な業務連携を行うにあたり、知財管理システムで必要とされる仕様・機能を纏め、運用・活用する上で留意すべき課題を検討し、会員企業への情報提供を行う。
- ・課題は特許事務所側の目線も加え、全体最適化を目指したものとする。
- ・上記課題及び課題解決方法について、情報システム委員会参加企業に対し、アンケートを実施し、課題の抽出漏れ・検討漏れを減らすように努める。

### ◆ アウトプット&スケジュール

論説投稿:2022年4月／東西部会2022年4-7月





## 情報システム委員会 第3小委員会

### ◆ テーマ名

企業活動のグローバル化に伴う知財管理システムで留意すべき点の調査・研究

### ◆ 狙い

企業活動のグローバル化に伴って発生する留意点、グローバルな業務プロセス・システム構築の際に検討が必要となる課題等、各社が把握すべき共通課題が多く存在するとみられることを踏まえ、企業活動のグローバル化に焦点をあて、知財管理システムの留意点・課題の所在についての調査・研究を行う。

### ◆ 活動の概略

- ・知財管理の対象会社として海外子会社を含める場合に検討必要な事項について、知財管理システムの観点から取り纏め、留意点として検討、会員企業への情報提供をゴールに設定。
- ・活動状況：小委員会内検討で課題事項の観点を抽出済(①法対応、②営業秘密管理、③インフラ、④利便性、⑤その他(承認文化の違い等)。委員会内アンケートを実施し、課題事項の網羅性を確保しつつ、各課題を深堀して留意点として纏めていく。

### ◆ アウトプット&スケジュール

論説投稿:2022年4月／東西部会2022年4-7月



～世界から期待され、世界をリードするJIPA～